

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (日本史学コース) 修士課程】
試験科目 【専門試験 歴史学一般】

## 【出題意図】

日本史学分野における知識や技能を修得し、修士課程での学修に必要な学力を有しているか。また、提示された諸情報・条件に基づき考察を行い、論理的な文章を書く力を有しているかを問う。

【問】 (1)～(5)のうち3つを選び、その番号を下の( )に記し、それぞれについて述べよ。

(1) 出雲国大税賑給歴名帳 (2) 多胡碑 (3) 本朝文粹 (4) 西宮記 (5) 古語拾遺

## 【評価のポイント】

日本古代史に関連する史資料の文献解題が主となる。その際、単なる知識の羅列に終始することなく、成立にいたる歴史的背景や社会・後世への影響等を踏まえながら書けていること。

【問】 倭王権の成立・展開について画期を示し、その過程を具体的に述べよ。

## 【評価のポイント】

画期の設定は任意であるが、その理由を論理的に述べること。時期の示し方は世紀を用いるのが望ましいが、天皇(大王)名でもよい。画期とした根拠について、倭王権の政治・制度・外交等の諸段階に関する知識や理解を有しており、それらがどのように変化したのか具体的に述べられているかがポイント。概ね3世紀～7世紀の列島における歴史的展開を見通す力が求められる。

【問】 鎌倉後期(モンゴル襲来以降)の鎌倉幕府政治の特質について、具体例を明示しながら述べなさい。

## 【評価のポイント】

鎌倉後期は、鎌倉時代の政治史を通覧するといわゆる得宗専制の時代とすることができる。

この考え方を基軸にして幕府権力の様相・推移を詳細に述べる必要がある。先行研究の是非を問っているわけではないので、史料的根拠を掲げながら自説を述べても構わない。

また、鎌倉後期を理解するうえで必要な一定量の歴史用語を適切に組み合わせ、論理的な文章を書く必要が求められる。

【問】 江戸時代における交通の特徴と都市社会の展開について述べよ。

## 【評価のポイント】

江戸時代における交通に関する歴史的用語を取り上げ、それに関連づけて、三都(江戸・大坂・京都)や城下町のあり方を述べる必要がある。また、交通と関わった物資輸送や人的交流の展開を述べ、近世社会における農村と都市のあり方を示すことも求める。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

【問】 明治初年の三大改革のうち一つを取り上げて、その歴史的意義について論じなさい。

## 【評価のポイント】

明治三大改革とは、学制・徴兵令・地租改正のことであり、近世から近代へ移行する画期となる改革であった。

したがって、この三大改革の内容を理解することは、近代国家の形成過程を検証することにつながり、(AP1)に関する評価ポイントとなる。また、出題の意図を反映した記述になっているか、歴史用語を正確に理解しているか、歴史的な原因・経過・結果・影響などの因果関係を正しく理解しているかなどは、(AP3)に関する評価ポイントになる。

【問】 日本が太平洋戦争へと歩みを進めていくなか、日本外務省は、南進論に対してどのように対応したでしょうか。当時(1930年代末～1940年代初頭)において外務大臣だった人物の外交方針や外交観・世界観を踏まえながら論ぜよ。

## 【評価のポイント】

1937年の日中戦争勃発後、日中戦争の解決に行き詰った近衛文麿内閣は、「東亜新秩序声明」(第2次近衛声明:1938年11月3日)を発出して、日満支3国による「円ブロック」建設構想を提起した。こうした方針に基づき、有田八郎外相は地域主義的な広域経済圏の構築を構想するが、その実現をみないうちに日本は仏印への進駐を進めた、アメリカとの関係を悪化させてしまう。アメリカから屑鉄などの対日禁輸措置を講じられてしまうと、その資源の確保を目的として、1940年8月、松岡洋右外相は「大東亜共栄圏」建設構想を公式に表明し、外務官僚たちもその建設に向けた取り組みにコミットし始める。地域主義的で排外的な秩序観に基づく世界観に外務官僚たちが取り込まれていく過程を論述できていることが重要である。

# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

---

【問】 1947 年 5 月 3 日に施行された日本国憲法の制定過程について以下の語彙を全て使って説明せよ。

---

なお、使用した語彙の下にはアンダーラインを引くこと。

---

(1) 松本試案 (2) 極東委員会 (3) マッカーサー三原則 (4) ホイットニー (5) GHQ 草案

---

【評価のポイント】

---

アメリカの日本占領政策の大枠の中でのマッカーサーによる戦後改革方針を踏まえた上で、日本政府による憲法改正の動き（松本試案の策定過程）およびそれに対する GHQ 側の積極的な介入（GHQ 草案）の流れを正しく理解していること。さらには、GHQ の占領政策に対する極東委員会の権限と関与という連合国内の権力関係を押さえておくことが重要。

---

【問】 1972 年 9 月 29 日に発表された日中共同声明をめぐる日中関係について以下の語彙を全て使って

---

説明せよ。なお、使用した語彙の下にはアンダーラインを引くこと。

---

(1) LT 貿易 (2) ニクソン訪中 (3) 田中角栄 (4) 日華平和条約 (5) 日中平和友好条約

---

【評価のポイント】

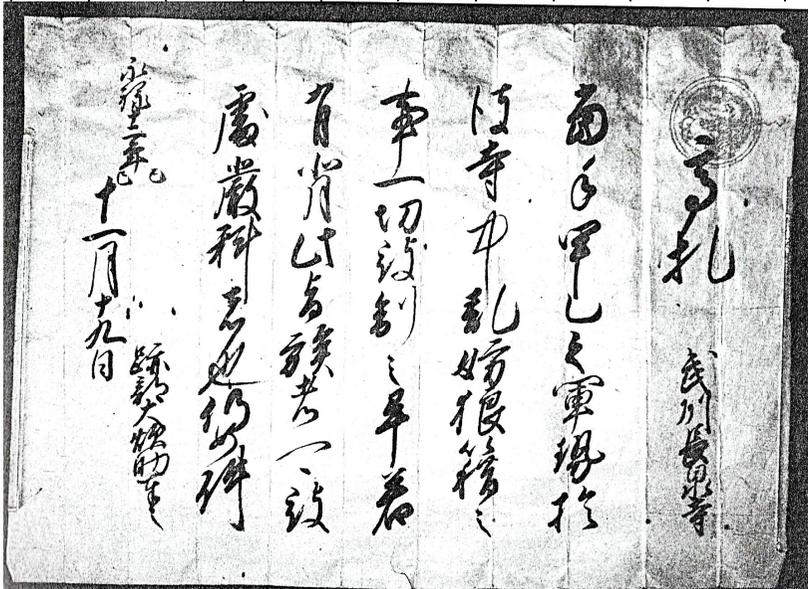
---

日中国交正常化の流れを正しく押さえているかが問われる。正常化前の LT 貿易に代表される非公式ルートによる日中接触の意義、日中国交正常化をもたらした米中関係等の国際的背景、国交正常化による日台関係の変化、さらには正常化後の平和条約調印にいたる日中関係の緊密化などを正しく記述できているかがポイントとなる。

---

---

左の武田家朱印状に関して、(一) 翻刻文を記したうえで、(二) 文書の形態・形式について述べ、(三) 内容および文書発給手続きなど、関連する事項について知るところを述べなさい。



(一) (武田家龍朱印)

高札

武州長泉寺

当手甲乙之軍勢於

(藉)

彼寺中乱妨狼籍之

事、一切被制之畢、若

有背此旨族者、可被

処嚴科者也、仍如件、

永祿十二年<sup>〇</sup>

跡部大炊助 奉之

十一月十九日

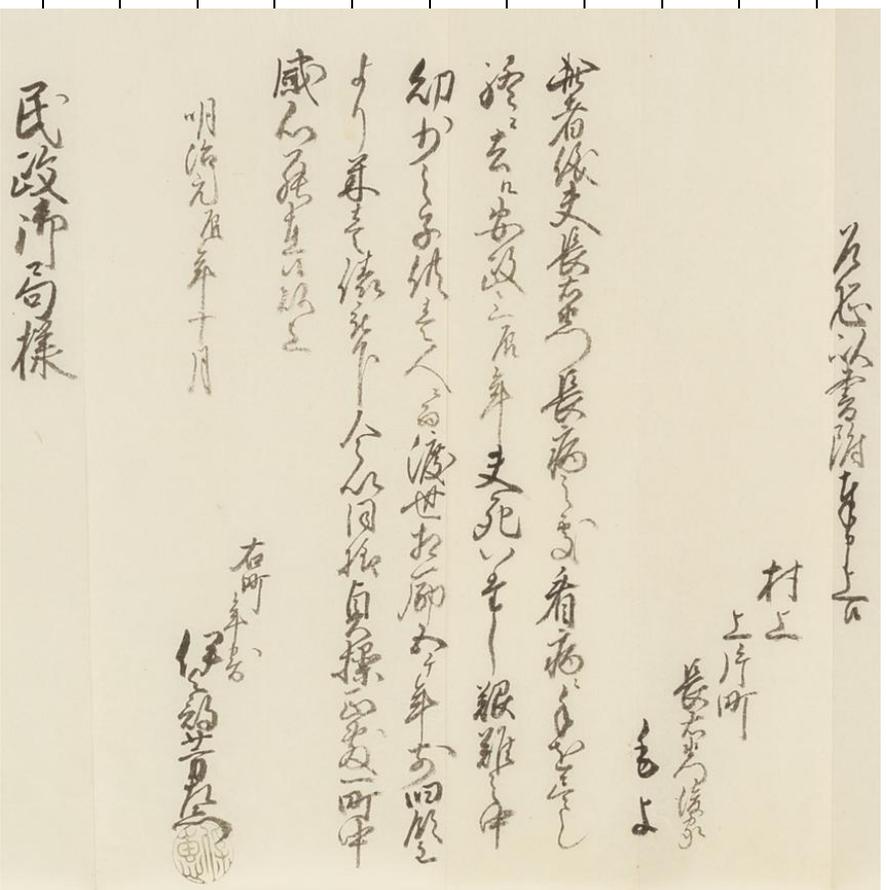
(二) 本文書は豎紙である。武田家の家印である龍朱印が袖部分の上部に捺されている。武田家朱印状は、この文書のように袖部分の上部に捺されたもののほか、日下に龍朱印が捺されたものもある。跡部大炊助が「これをうけたまわる」として奉者を務めている。

「高札」とある通り、木製の板札に写し取り、「当手甲乙之軍勢」が「彼寺」||長泉寺の境内において乱暴狼籍することを停止させる効力を期待したものである。

(三) 奉者はこの文書の発給手続きをすすめた担当者である。高札・制札は、上部権力から一方的に与えられるものではなく、それを必要とする者が礼銭を支払って要請することで下付されたものである。右の高札は、武田氏の進軍に対して、長泉寺が寺への破壊行為や寺関係者への乱暴を防ぐことを目的に、跡部大炊助を取次として手に入れた武田家朱印状である。武田軍の進軍時に多くの人々は安全な場所に避難するが、寺への乱暴狼籍を防ぐには寺に数名が残って、被害に遭いそうになった場合、この朱印状をかざして交渉・抵抗などして寺の安全を守る必要があった。寺社などの要求によって大名が下付した制札が持っている保護の機能は、受給者の主体的な努力があって発揮されるものであった。

つぎの史料について釈文を書き、解説せよ

【史料】



【釈文】

乍恐以書附奉申上候

村上

上片町

長右衛門後家

も(毛) よ

此者儀、夫長右衛門長病之處看病二手を尽し

終ニ去ル安政三辰年夫死いたし、艱難之中

幼少之子供老人ニ而渡世相勵、五ヶ年前旧領主

より米壹俵被下、今以同様貞操正敷、一町中

感心罷在候、以上

右町

年寄

明治元辰年十月

伊与部芳左衛門⑩

民政御局様

\* 釈文は常用漢字あるいは新字で書いても可とする。

【解説】

村上上片町の長右衛門後家の「もよ」について、同町の年寄役伊与部芳左衛門が、維新政府の民政局に対して提出した上申書である。

「もよ」は、夫長右衛門の長患いに対し、手厚く看病したが、夫はついに安政三年に死亡してしまった。そうした艱難のなか、幼少の子供を女手一人で養い渡世に励んでいたことから五年前に江戸時代の旧領主から米一俵を給付された。その後も今もって同様に貞操を守り、上方町の者が感心していることを上申している。

「もよ」が奇特者であることを維新政府に上申したものである。

# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (日本史学コース) 修士課程】
試験科目 【外国語試験 英語】

**【出題意図】**

大学院で研究を行っていく上での、必要最低限の英語力を問う。

**【問】** 次の英文を、日本語に全訳せよ。



**【出典】** 河野康子監修・講談社インターナショナル株式会社編

『増補改訂第2版 英語で読む日本史』（2006年、講談社インターナショナル株式会社）81頁



# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (東洋史学コース) 修士課程】
試験科目 【専門試験 歴史学一般】

## 【出題意図】

東洋史に関する基本的な用語の理解度、及び漢文史料の正確な読解力と文脈に即した日本語の表現力を問う。

〔問題〕 下記の2問を解答しなさい。1問につき別紙解答用紙1枚を使用し、それぞれ問題番号を明記した上で、解答すること。

問1. 次の(1)～(5)の事項について、それぞれ説明しなさい。

(1) 二十等爵 (2) 晉安王(劉)子勛の乱 (3) 范氏義荘 (4) 千戸制 (5) 支那通史

問2. 下記の漢文(『後漢書』列伝七十六・南蛮西南夷伝)を、(1)書き下し文に改め、(2)現代日本語に訳しなさい。

昔高辛氏有犬戎之寇、帝患其侵暴、而征伐不剋。乃訪募天下、有能得犬戎之將吳將軍頭者、購黄金千鎰、邑萬家、又妻以少女。時帝有畜狗、其毛五采、名曰槃瓠。下令之後、槃瓠遂銜人頭造闕下、羣臣怪而診之、乃吳將軍首也。帝大喜、而計槃瓠不可妻之以女、又無封爵之道、議欲有報而未知所宜。女聞之、以爲帝皇下令、不可違信、因請行。帝不得已、乃以女配槃瓠。槃瓠得女、負而走入南山、止石室中。所處險絶、人跡不至。於是女解去衣裳、爲僕鑿之結、著獨力之衣。帝悲思之、遣使尋求、輒遇風雨震晦、使者不得進。經三年、生子一十二人、六男六女。槃瓠死後、因自相夫妻。織績木皮、染以草實、好五色衣服、製裁皆有尾形。其母後歸、以狀白帝、於是使迎致諸子。衣裳斑蘭、語言侏離、好入山壑、不樂平曠。帝順其意、賜以名山廣澤。其後滋蔓、號曰蠻夷。外癡内黠、安土重舊。以先父有功、母帝之女、田作賈販、無關梁符傳、租稅之賦。有邑君長、皆賜印綬、冠用獺皮。名渠帥曰精夫、相呼爲媿徒。今長沙・武陵蠻是也。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

## 【解答例等】

### 問1

#### (1) 二十等爵

二十等級からなる、漢代の爵制。民爵ともいう。最高位は二十級の列侯。戦国時代の軍功爵を起源とし、直接的には秦の制度を継承したものの。帝国の経済基盤である自営小農民を個別に統制するため、特別の功績がなくても、全成年男子に何らかの爵位を保持させ、皇帝との君臣関係を視覚化する制度。西嶋定生は二十等爵の研究を通して、秦漢帝国の統治体制を「個人身身的な支配」と定義している。

#### (2) 晋安王（劉）子勳の乱

南朝宋の中頃に起こった反乱。明帝が前廢帝を暗殺して即位すると、これに反対する勢力が、前廢帝の弟の晋安王劉子勳を皇帝に擁立した。方鎮の多くが晋安王を支持したため、明帝は四面楚歌に陥るが、強力な中央軍によって、反乱軍を破った。明帝は孝武帝の諸子を粛清し、権力を確立するが、宗室の弱体化を招き、南齊に位を奪われる遠因になった。また、淮北四州の方鎮が反乱に加担し、晋安王の敗北後、北魏に降り、南朝の弱体化につながった。

#### (3) 范氏義荘

義荘は義田といい、宋代以降、一族共同の土地によって、同族を扶養し、子弟の教育、祖先の祭祀などをおこなうための施設をいう。北宋の范仲淹が同族に寄進して始められたのが范氏義荘である。

#### (4) 千戸制

モンゴル帝国の軍事・行政組織。千人の兵士を供給できる単位。チンギス・カンがモンゴリアを統合すると、麾下の全遊牧民を百戸、十戸の体系に再編成し、それぞれに長を置いた。95人の千戸長は以後、モンゴルの世襲貴族となった。

#### (5) 支那通史

明治の東洋学者、那珂通世の著作。日本の近代歴史学が生んだ、最初の本格的な中国の概説書。那珂は新しい歴史教科・研究分野として東洋史を提唱するが、その概説書として書かれたもの。ただし、宋代までの記述に止まっているのは、『元史』が杜撰で、元の記述を断念したためとされ、その後、那珂が元朝史研究に邁進するきっかけになった。

### 問2

#### 〔書き下し文〕

昔高辛氏に犬戎の寇あり。帝其の侵暴を患ひ、而して征伐するも剋たず。乃ち天下に訪募し、能く犬戎の將吳將軍の頭を得る者あらば、黄金千鎰、邑萬家を購ひ、又た妻すに少女を以てせんとす。時に帝畜狗あり。其の毛は五采、名づけて曰はく「槃瓠」と。令を下すの後、槃瓠遂に人頭を銜へて闕下に造り、羣臣怪しみてこれを診れば、乃ち吳將軍の首なり。帝大いに喜ぶも、而れども計るに槃瓠はこれを妻すに女を以てするべからず。又た封爵の道なし。議して報いること有らんと欲すも而れども未だ宜しくする所を知らず。女これを聞き、以爲へらく「帝皇令を下さば、信に違ふべからず」と。因りて行かんことを請ふ。帝已むを得ず、乃ち女を以て槃瓠に配せしむ。槃瓠女を得るや、負ひて走りて南山に入り、石室中に止まる。處る所は險絶にして、人跡至らず。是に於いて女衣裳を解去し、僕鑿の結を爲り、獨力の衣を著る。帝これを悲思し、使ひを遣はして尋求せしむも、輒ち風雨震晦に遇ひ、使者進むを得ず。經ること三年、子一十二人、六男六女を生む。槃瓠死するの後、因りて自ら相夫妻たり。木皮を織績し、染めるに草實を以てし、五色の衣服を好み、製裁するに皆な尾形あり。其の母後歸り、狀を以て帝に白し、是に於いて諸子を迎致せしむ。衣裳は斑蘭、語言は侏離、好みて山壑に入り、平曠を樂はず。帝其の意に順ひ、賜ふに名山廣澤を以てす。其の後滋蔓し、號して曰はく「蠻夷」と。外は癡内は黠、土を安んじ舊を重んず。先父功あり、母は帝の女なるを以て、田作・賈販するに、關梁の符傳、租税の賦なし。邑君長あり、皆な印綬を賜ひ、冠するに獼皮を用てす。渠帥を名づけて曰はく「精夫」と、相呼びと媿徒と爲す。今の長沙・武陵蠻是れなり。

#### 〔現代語訳〕

むかし高辛氏るとき、犬戎が入寇したことがある。帝はその侵暴に悩まされ、征伐するが勝つことができない。そこで天下に触れを出し、犬戎の吳將軍の首を取った者には、黄金千鎰と食邑一万家を与え、かつ末の娘を降嫁させるとした。このとき帝には、五色の毛をもつ飼犬があり、「槃瓠」と名づけていた。触れを出した後、槃瓠は人頭を啜えて宮殿にやって来る。群臣たちが不思議に思って検分すると、それは吳將軍の首だった。帝は大いに喜ぶが、槃瓠に娘を嫁がせるわけにはいかない。かつ爵位を授ける方法もない。槃瓠の手柄に報いようとするが適切な方法が分からない。皇女はこのことを聞くと、「帝はいったん触れを出した以上、その約束に違えることはできない」と思う。そこで槃瓠に嫁ぐことを要請する。帝はやむを得ず、皇女を槃瓠の妻にする。槃瓠は皇女を得ると、これを背負って南山に走り入り、石室の中に留まった。居着いたところは山深く、人跡未踏の地だった。ここで皇女は衣裳を脱ぎし、僕鑿の髪型をなし、獨力の衣を着けた。帝は悲しんで皇女を思い、使者を派遣して行き先を搜索させるが、そのたびごとに風雨と雷、空が真っ黒になり、進むことができない。三年後、十二人の子、六男六女を出産する。槃瓠が死んだ後、子供たちはそれぞれ夫妻になる。木の皮を織り、草の実で染め、五色の衣服を好み、縫製すると皆なシッポがついている。その後、母の皇女が実家に戻り、子供たちの有様を帝に報告する。そこで帝は子供たちを迎え入れる。彼らの衣裳はまだら模様、言葉は意味不明で、好みて山谷に分け入り、平地を好まない。帝はかれらの意思を尊重し、領地として名山・広沢を賜る。その後繁栄し、「蠻夷」と号する。愚かそうに見えるがずる賢く、縄張りを守り旧習を重んじる。先父に手柄があり、母は皇女であるため、農業・商売をするのに、關・梁の通行手形を持たず、租税を負担することもない。邑君長がいて、みな印綬を賜り、獼皮の冠を着用する。指導者を「精夫」と言い、お互い「媿徒」と呼び合う。現在の長沙蛮・武陵蛮である。

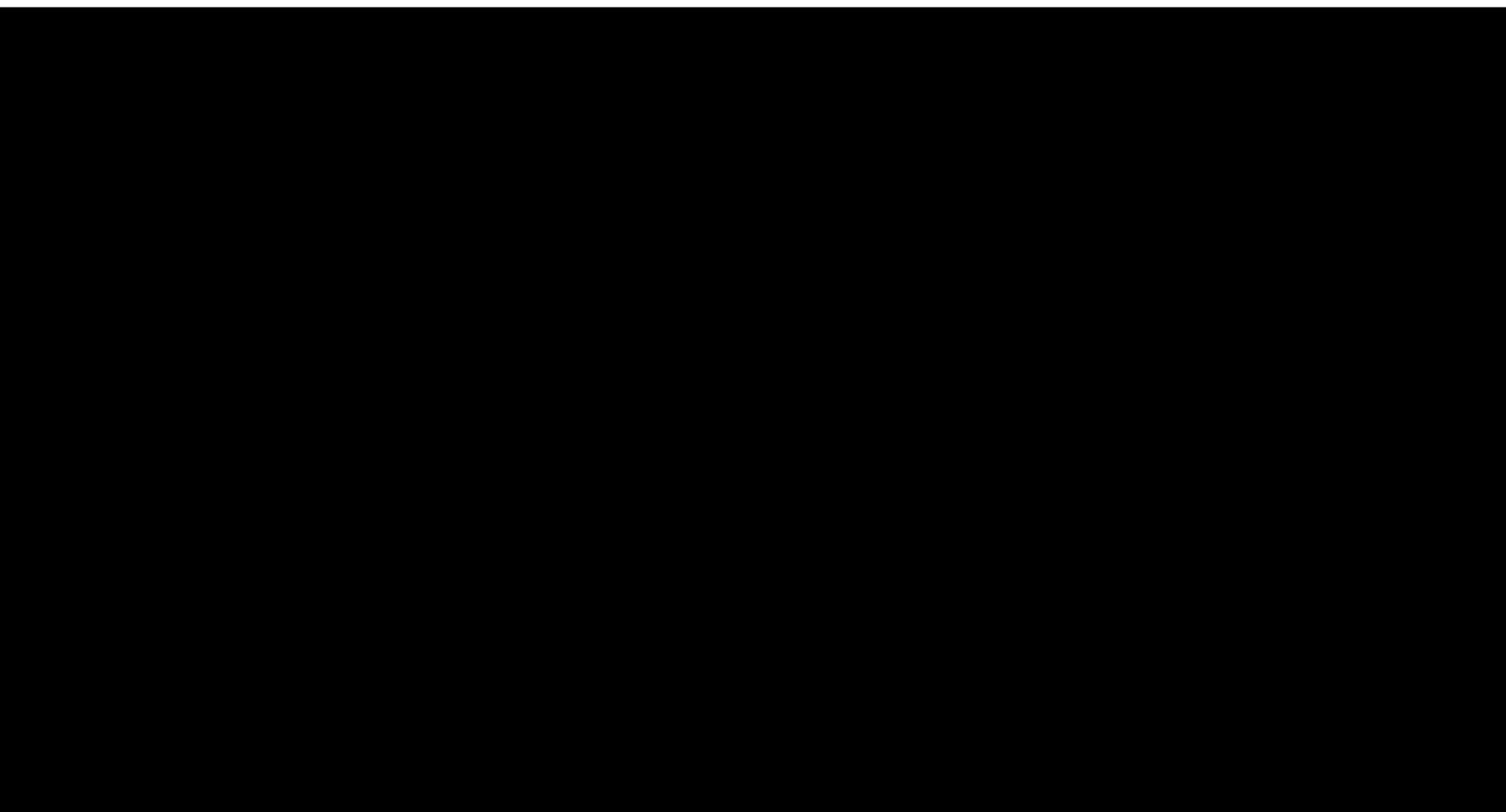
# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻
【 人文科学研究科 歴史学専攻 (東洋史学コース) 修士課程 】
試験科目
【 外国語試験 英語 】

## 【出題意図】

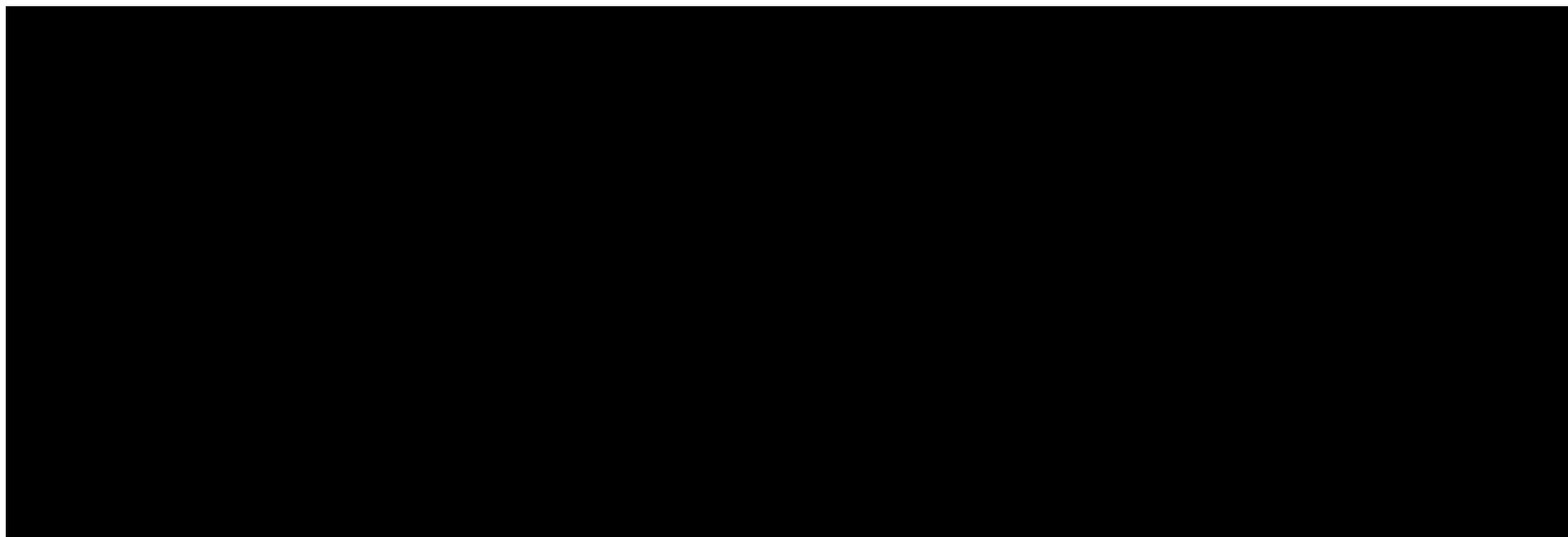
英語の正確な読解力と文脈に即した日本語表現力を問う。

〔問題〕 次の英文を和訳し、解答を別紙解答用紙に記しなさい。



※出典： The Cambridge History of the Mongol Empire, vol.1, Cambridge Univ. Press, 2023, p.852.

## 〔解答例〕



# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (西洋史学コース) 修士課程】
試験科目 【専門試験 歴史学一般】

## 【出題意図】

西洋史学分野における知識や技能を修得し、修士課程での学修に必要な学力を有しているか。また、提示された諸情報・条件に基づき考察を行い、論理的な文章を書く力を有しているかを問う。

【問題1】 下記の1から3の設問から1つを選び、解答してください。

1. 古代・中世において、社会の仕組みが構築される上で宗教はどのような役割を果たしたといえるか、例を挙げて説明してください
2. 17世紀末から19世紀のヨーロッパにおける、エリート文化と民衆文化について論じて下さい。
3. 第一次世界大戦からソ連の解体までを1つの時代と捉えたとき、その時代の特徴について具体的な例を挙げながら論じてください。

## 【評価のポイント】

以下について評価する。

1. 取り上げた題材が適切か。
2. 問われている内容についての史実を適切に提示しているか。
3. 単なる史実の羅列にとどまらず、問いに対する解答を論理的に提示しているか。

【問題2】 下記の8つの用語から5つを選び、それぞれを簡単に説明してください。

- ヒエラティック
- ポリュビオス
- 異端審問
- 印刷術
- スペイン継承戦争
- 恐怖政治
- 世界政策
- ラーテナウ

## 【評価のポイント】

各歴史的事項に関する概要や特徴について、その背景や歴史的経緯等を踏まえながら書いているとともに、その歴史的意義について触れていること。

# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題

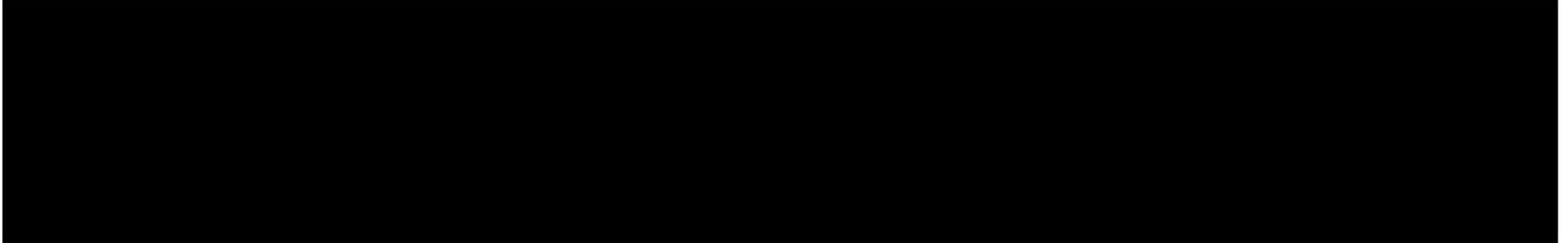
研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (西洋史学コース) 修士課程】
試験科目 【 外国語試験 英語 】

## 【出題意図】

出題されている英文の構文を正確に理解し、それを正しい日本語に翻訳することができるかを判定する。

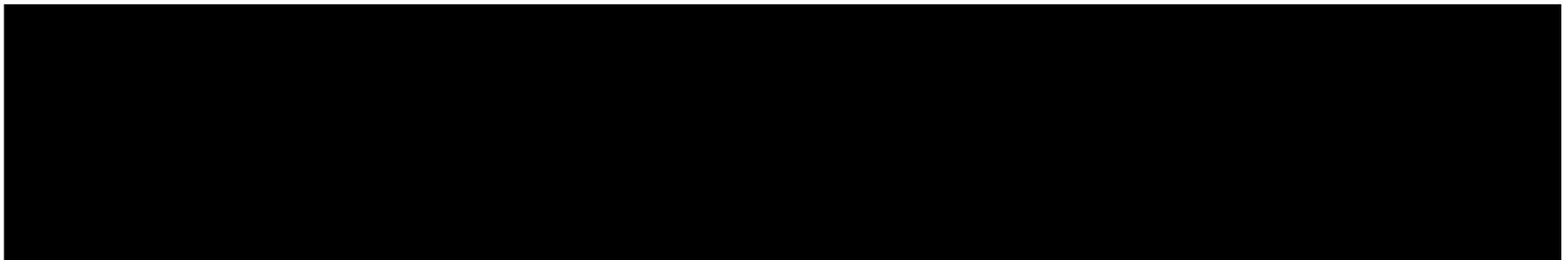
次の問題1から3のうち2問を選択し、解答して下さい。なお、解答についてはそれぞれ解答用紙（4枚目と5枚目）に1問ずつ記入して下さい。

【問題1】次の英文を邦訳して下さい。



(出典：K. Parry, “Egypt in the Byzantine Imagination: Cultural Memory and historiography, fourth to ninth centuries”, in D. Dzino and Ken Parry eds., *Byzantium, Its Neighbors and Its Cultures*, Leiden: Brill, 2014, p. 182.)

【解答例】



# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題

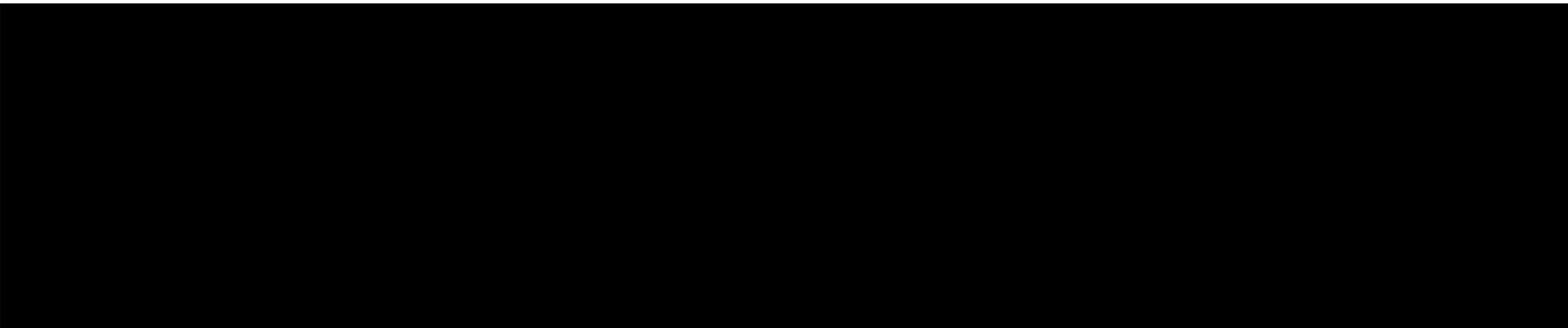
【問題2】次の英文を邦訳してください。

(出典 : Peter Burke, *The Fabrication of Louis XIV*, Yale University Press, 1992, p.1.)

【翻訳例】

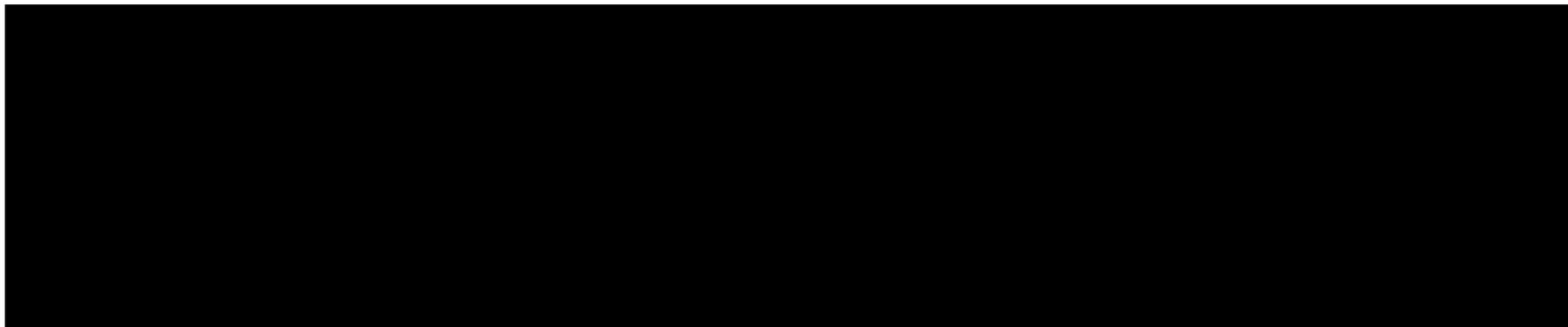
# 2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題

【問題 3】 次の英文を邦訳してください。



(出典 : Andreas Osiander, "Power as a German problem: a historical survey," in Jens Steffek and Leonie Holthaus (eds.), *Prussians, Nazis and Peaceniks: Changing images of Germany in International Relations*, Manchester: Manchester University Press, 2020, p. 19.)

【解答例】



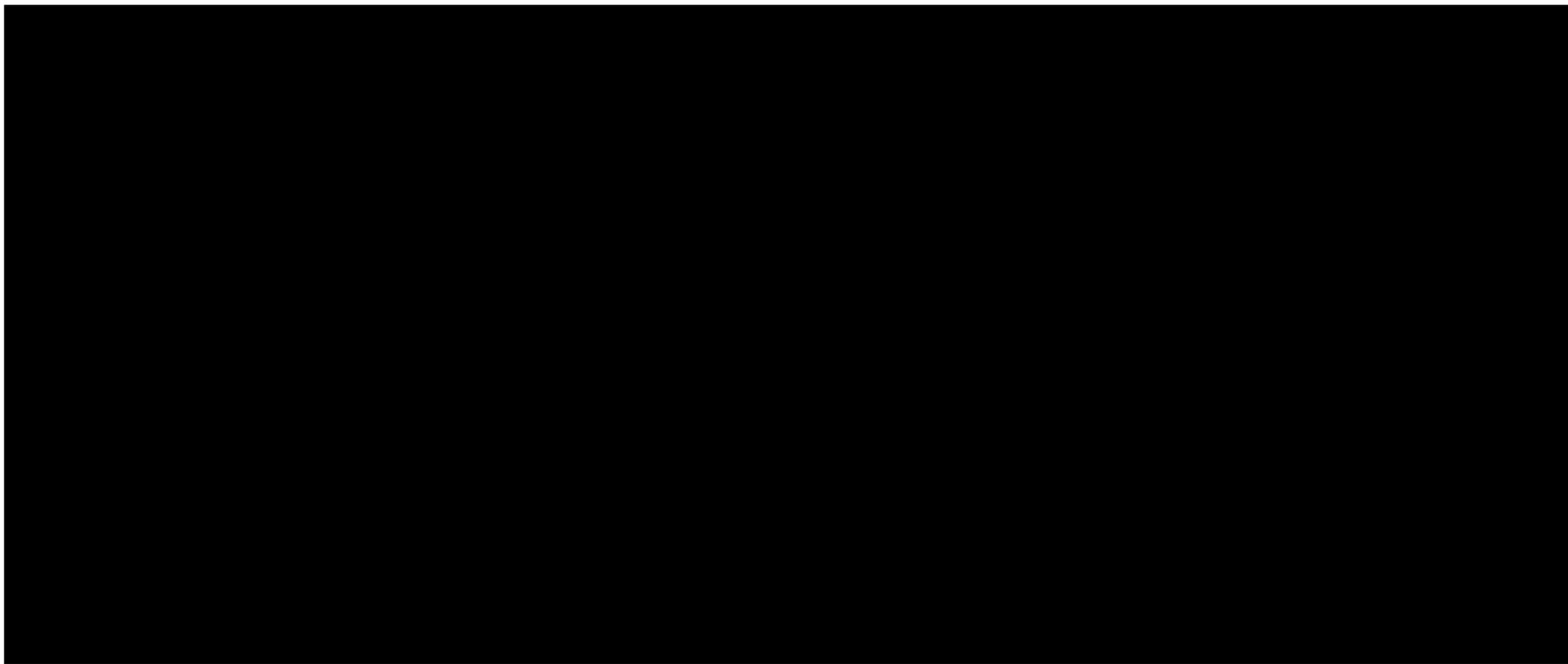
# 2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【人文科学研究科 歴史学専攻 (考古学コース) 修士課程】
試験科目 【外国語試験 英語】

## 【出題意図】

考古学に関する基礎的な英文を、適切な日本語に翻訳できるかどうか、また、英文の論理展開を正しく理解しているかどうかを問う。

問題 以下の英文を適切な日本語に訳せ。



full-scale : 完全な、全面的な    lay down : ~を横たえる    wet-rice : 水稲    procurement : 獲得、入手  
diplomatic intercourse : 外交    cult : 儀式、祭祀    sufficiently : 十分に

出典 : Imamura, Keiji. 1996 *Prehistoric Japan: New Perspectives On Insular East Asia*, Routledge, pp.127-128

## 【解答例】

